

行政評価局調査(地域計画調査)の実施

総務省東北管区行政評価局では、地域の住民生活に密着した行政上の課題等を取り上げ、行政運営の改善を図るため、令和2年8月から以下のテーマについて、調査(地域計画調査)を実施します。

○ ツキノワグマの保護管理に関する調査 — 人里への出没対策を中心として —

人間とツキノワグマの適切な関係を構築する観点から、ツキノワグマの出没時及び人身被害の発生時の対応状況、ツキノワグマの保護管理に関する施策・事業の実施状況等を調査し、関係行政の改善に資するために実施

【本件連絡先】

〈ツキノワグマの保護管理に関する調査 — 人里への出没対策を中心として —〉

東北管区行政評価局 評価監視部 第一評価監視官室(田村、藤村)
電話：022-262-8458(直通)

〈行政評価局調査全般について〉

東北管区行政評価局 総務行政相談部 総務課(佐野)
電話：022-262-7831(直通)

◎ 本公表資料は、東北管区行政評価局のホームページに掲載しています。
<https://www.soumu.go.jp/kanku/tohoku.html>

ツキノワグマの保護管理に関する調査 —人里への出没対策を中心として—

調査の背景

- ◎ ツキノワグマの分布域は、全国的に拡大傾向。市街地など人間の生活圏のすぐ近くに迫っている地域も多く、簡単に人間の生活圏に侵入できる状況
- ◎ ツキノワグマに襲われけがをするなどの被害に遭った人は、令和元年度、東北6県で57人（53件）。学校、自宅敷地内、商業施設周辺などの人里でも発生しており、出没対策は喫緊の課題

- ◎ 環境省は、鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針を定め、また、クマ類の保護管理に関するガイドラインを作成し、基本的な考え方や対策等を提示
- ◎ 地方公共団体は、上記指針やガイドラインに即してツキノワグマの個体群管理や被害防除、生息環境管理を推進

- ◎ 人間とツキノワグマとの適切な関係を構築する観点から、ツキノワグマの出没時及び人身被害の発生時の対応状況、ツキノワグマの保護管理に関する施策・事業の実施状況等を調査し、関係行政の改善に資するために実施

主要調査項目と調査の視点

1 ツキノワグマの出没時及び人身被害の発生時の対応状況

- ◎ ツキノワグマの出没時及び人身被害の発生時の対応状況
- ◎ 人里近くに生息するツキノワグマの動向

2 ツキノワグマの保護管理に関する施策・事業の実施状況

- ◎ ツキノワグマの広域的な保護管理、ゾーニング管理、モニタリングの実施状況

3 その他

- ◎ 国、県及び市町村における人材育成の取組状況

主要調査対象

調査対象機関

東北農政局、東北森林管理局、東北地方環境事務所

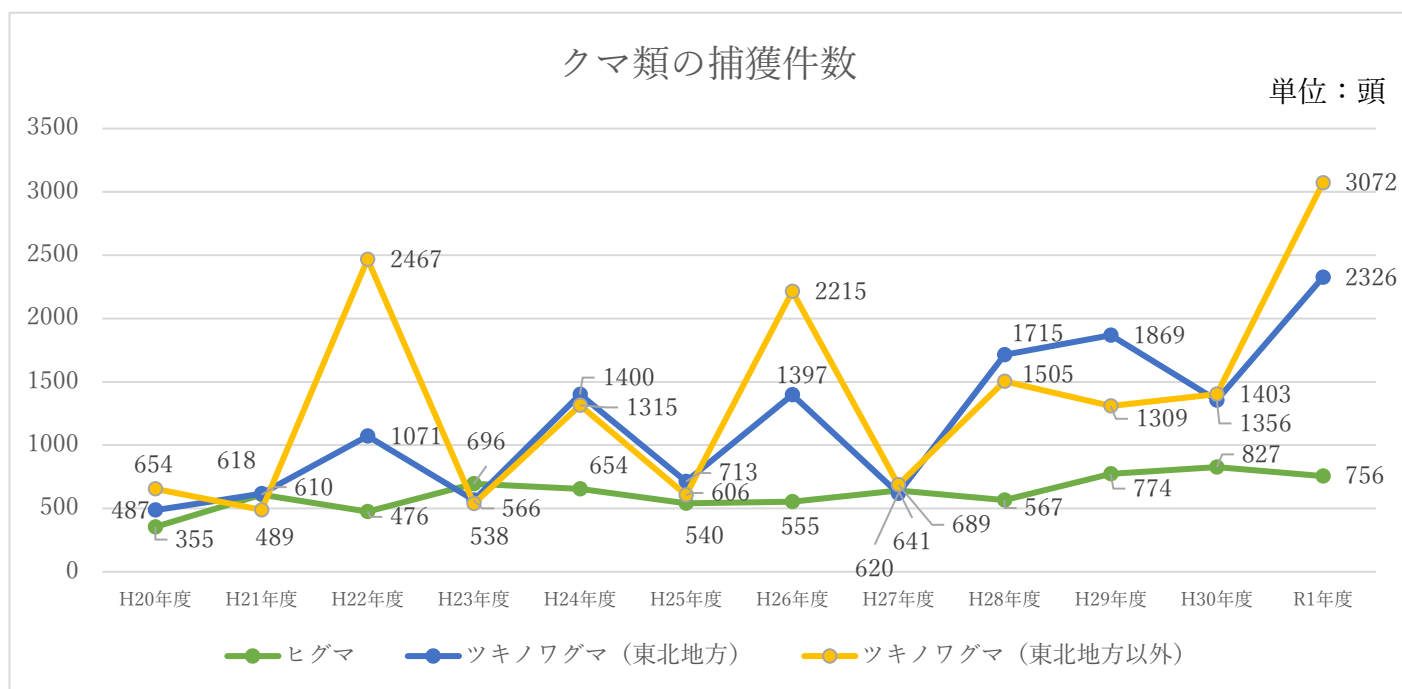
関連調査等対象機関

県、県警察、市町村、関係団体等

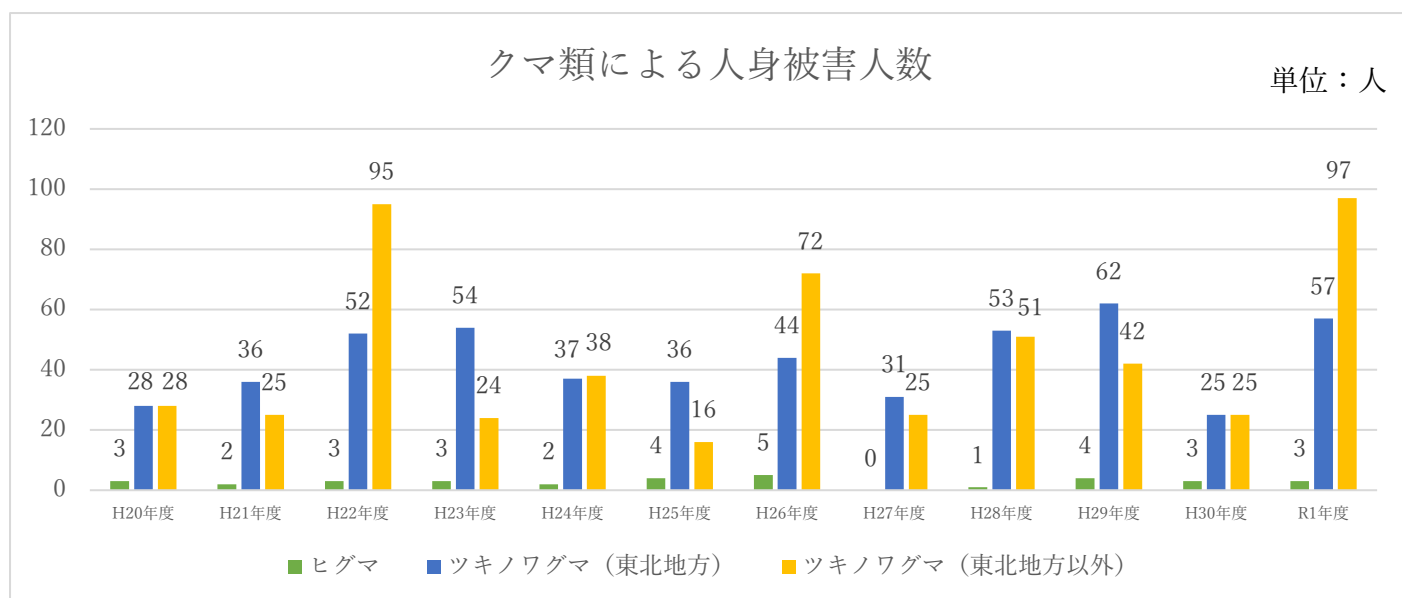
調査実施期間

令和2年8月～11月（予定）

【参考】



(注) 環境省の資料「クマ類の捕獲数(許可捕獲数)について[速報値](令和2年6月30日)」に基づき、当局で作成した。



(注) 環境省の資料「クマ類による人身被害について[速報値](令和2年6月30日)」に基づき、当局で作成した。

<人身被害の例>

● 住宅地でクマに襲われ重傷

令和元年10月31日の午後8時頃、秋田市添川の住宅街で、男性(46歳)がクマに襲われ、重傷を負った。帰宅した男性が自転車を自宅敷地内に止めたところ、突然現れたクマに襲われた。クマは捕まっていない。

● 下校途中の中学生、クマに耳をかまれケガ

令和元年9月19日の午後6時40分頃、鹿角市花輪の中学校脇の階段で、下校途中の男子生徒がクマと鉢合わせし、覆いかぶされ耳をかまれた。

大声を出すと、クマは山林に去った。